

地域のなかまとして、共に学び、共に育つ

居住地校交流

☆特別支援学校に在籍する小学部・中学部の児童生徒が、自分の住んでいる地域で交流を深めます。

☆小学校・中学校の児童生徒にとっては、同じ地域の仲間として関わりながら、障害に対する理解を自然に深めることができます。

☆特別支援学校の児童生徒にとっては、自分が住んでいる地域で人間関係を広げ、豊かに暮らしていくために、地域の同世代の児童生徒と交流を深める機会になります。また、同学年の集団での各教科等の学習を通して、多様な考えに触れる機会になります。

(令和7年3月 秋田県教育委員会「交流及び共同学習にかかるガイド」より)

実施の流れや交流内容については

「R8 居住地校交流ガイドブック」をご覧ください →



【教科等】

各教科

特別活動

総合的な学習の時間

【単元(題材)名の例】

「からだを うごかさう」

「ボッチャをしよう」

「檜岡焼き体験」

お問合せ先

秋田県立大曲支援学校

0187-68-4123

omagari-s@akita-pref.ed.jp

教頭 高橋和恵 大川康博